



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年11月26日 No.203

# なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

にほんさいだいきゅう どうきょう やないちやうすやまこふん  
**日本最大級の銅鏡 柳井茶臼山古墳**

でまえじゆぎやう おとすれたやないしりつりゆうほくしやうがっこう やないしやうがっこう やないちく くに しせき してい  
出前授業で訪れた柳井市立柳北小学校、柳井小学校のある柳井地区には、国の史跡に指定されて  
いる柳井茶臼山古墳があります。4世紀末から5世紀初めに造られた全長約90mの前方後円墳で、  
県内では3番目の大きさです。1892年に地元の2人の少年により発見されました。瀬戸内海航路の重  
要な拠点に位置して、その権力を誇示しています。ここからは銅鏡や鉄剣、勾玉、円筒埴輪など  
多くの副葬品が出土しています。その中には、日本最大級の銅鏡「単頭双胴怪獣鏡」(国指定重要文化財)  
があり、直径は44.8cmもあります。また、ここで発見された「画文帯神獣鏡」(県指定文化財)は、山口博物館で展示しています。  
参考文献【山口県史】



柳井茶臼山古墳 全景



画文帯神獣鏡→  
(山口博物館蔵)

←単頭双胴怪獣鏡

レプリカ(茶臼山古墳資料館)



柳井茶臼山古墳

ことしせいたん 200年を迎えた幕末の勤王僧月性(1817~1858)は、柳井市遠崎の妙円寺に生まれま  
した。15歳で修行の旅に出て学問を修め、人とのつながりを広げました。また、吉田松陰や久坂  
玄瑞とも親しい間柄でした。月性は、長崎で外国船を見て危機感を感じ、海からの防備を訴え  
ています。尊王攘夷を掲げ、倒幕論を唱えました。また、身分を問わず志があるもので新しい  
軍隊を作る必要性を説きました。これらの考えは、松陰らに影響を与え、後に高杉晋作は奇兵隊  
を創設します。月性は、27歳になって再び修学の旅に出ます。その際、「男児志を立てて郷閩  
をいづ」ではじまる立志の歌(将東遊題壁)を残しました。帰郷後、私塾清狂草堂(時習館)  
を開きました。ここでは、赤禰武人(185号参照)や大洲鉄然(183号参照)らが学んでいます。参考文献【月性】海原徹【大島町史】



2018 明治 150 年

月性剣舞像 部分  
(月性展示館蔵)



月性師記念碑



清狂草堂

山口博物館では、柳井茶臼山古墳から出土した銅鏡「画文帯神獣鏡」を展示しています。